



では、民主党出身の1番人気の大統領は？ケネディです。

今でも。ケネディ大統領は科学技術の力でソ連をパーンと突き放した。そのシンボリックの大事業が人類史上初の月面着陸です。宇宙開発は色々な国がやってるけど、今に至るまで人間を月面に着陸させる事が出来たのはアメリカ以外ないんです。トランプ大統領は、2024年に人類史上初の女性宇宙飛行士を月の南極に送って月面着陸させる、という法案を通してている。

なぜ2024年ですか？2期目を果たして最後の年。有終の美。髪型変やけど野心スゴイ。

でも大昔のケネディ大統領の時代に、アポロ計画で月面着陸して二番煎じじゃないか。前の月面着陸と全然違うんです。月に宇宙アパートを造る。人類宇宙移住計画ですよ。そんなん、できるんか？

月は地球の1/4の大きさ。重力は1/6。そして、大気が無いという事は、宇宙から降り注ぐ放射能と隕石がズバズバ月にぶつかっているわけ。地球にいても放射線は浴びているけど、月の放射線の量は地球の1400倍。しかも隕石が降ってくる。そんな所に宇宙アパート。トキワ荘みたいな。トキワ荘じゃないけど、そんなんを建てても木っ端微塵じゃないですか。

ところが、月には地下に空洞があるんです。大きい物は5キロ以上にわたって巨大な空洞がある。つまり、月の地下に宇宙アパートを造ったら、放射線を跳ね返す事ができる。隕石もそこまで届かない。月に地下都市を造って、そこに人間移住の計画。

なぜ南極か？月の南極は一日中（一日は24時間じゃないのですが）太陽の光を浴びているので、ソーラーパネルとか、熱エネルギーを電気エネルギーに転換する電池によって、半永久的に過ごせるようなシステムを造る。その研究はアポロ計画の時から始まっていて、その生存圏・生命圏の住居の事はバイオソフィアと言われ、既に完成しています。

完全に外の世界を遮断した球体の水槽に土を入れ、その上に水を入れます。そして、土にたくさんの藻・水中植物を植え、水の中に無数のバクテリアと魚を入れます。上は空気。

そうして外から熱と光を適度に与えると、水中植物の二酸化炭素が、光合成でオートマティックに酸素を出してくれる。光と熱さえ与えていたら、密閉空間の中でバクテリアと魚が、半永久的に繁殖して生き続けると言うのです。これは成功しているんです。

今度これの陸上版というので、外の世界を完全に密閉するような大きな空間を造って、男女8人を入れました。そこには池も川も植物もあって、家畜も飼っている。これはアリゾナにあります。バイオソフィア2と言って、これも外から光と熱のエネルギーだけで、空気の供給はない。密閉空間の中で半永久的に生命を生存させる空間を造る事が出来たら、そのまま宇宙に持って行けば宇宙移住計画が出来る。

しかし、カプセルまでは良かったけど、人間が住む所は非常に難しいんです。

第1番目に、人間が考えている理想の環境は、生命体にとってはそうではなかった。

光合成で酸素を供給するために、この中にたくさんの森を作ったけど、木が倒れて行ったんです。

風が吹いてないから。風がないと大木は地面に根差す事が出来ない。ストレスが全くない環境が生命体に最も良い環境だと思ったけど、風が全然ないという事で植物は枯れる。動物は死ぬ。

そして、共同生活をしている8人の男女が2つの派閥に分かれて大喧嘩。地球環境の前に人間関係。

8人共すごく賢いサイエンティストですよ。密閉空間の中で8人が顔つき合わせて。アカンねん。

関わった人たちが言うには、「私たちの知性が考える理想の環境は、必ずしも理想の環境じゃなかった。それを考えると地球はすごい環境だ。嵐・ハリケーン・台風が来るとなぜこんな事が…と。しかし、これはもしかすると、私たちが生きて行くために必要な事かもしれない。」

不完全なカプセルやバイオソフィア2ですら、それを造るのに最高水準の科学者たちが何十年もかかって、生き物が生きられるように作的にやって、そして、不完全なものしか造る事が出来ない。ましてや、何の人の手も加わらず、何の知性の働きかけも無しに、この恐るべき宇宙空間の中で、人間が今日まで生き延びる事ができるこの環境は、偶然に出て来るはずがないんですね。

私たちが生きて行くのに無くてはならないものをベストの環境で造った方。後に人間が罪を入れるのでおかしくなりますが、この世界をお造りになった作者。人の住み家としてこの地を造った方。聖書はこの方を創造主と言ひ、父なる神と呼んでいるのです。

この中には娘・息子がいるお父さんがおられますね。お父さんでなくても、自分にお父さんがいると思うんですけど、皆さんは“お父さん”と聞いた時、どんなイメージがありますか？  
あったかいイメージ？今、Fさんが首を横に振って。なんでやねん。ええお父さんやったやん。

ついタイトルに吊られて買ってしまった本を昨日読みました。実話です。

『お父さん、フランス外人部隊に入隊します。』（2012年発売）

愛媛大学4年生22歳の森本雄一郎という人。「卒業旅行でアメリカに行って来るわ」と両親と親戚に言ったけど、彼が旅立ったのはフランス。エッフェル塔を見るためではなく、フランス外人部隊に入るためです。フランス外人部隊はフランスがやる戦争で常に1番前で戦う部隊。最精鋭部隊。最強部隊。

外人部隊って、フランス人じゃないのに、なぜフランスのために1つしかない命を懸けるんですか？  
そこに来る人は脛に傷持つ人や、色んな事情で本国に居心地の悪さを感じて、破れかぶれになっている荒くれ者たちが集まって来る。森本雄一郎さんは反抗期がありませんでした。ものすごく素直。

お父さんは森本喬（きょう）さん。消防士です。

彼は家計を助けるために、お母さんが止めるのを振り切って高校を中退しました。

「俺はこうする」と言ったら誰も止める事が出来ない。「俺が決めた」と言ったら誰も阻む事が出来ない。

非常に父権的な、とにかく自分の価値観に合わない事を家族がするのは我慢出来ない。

姉のこずえさんが高校生の時に男女交際、付き合っている男の子の事でお父さんが怒って、折檻受けてもう少して殺されるところだった。家族が俺の価値観に合わない事をするなら、暴力を使ってでも屈服させるみたい。いまどき、そんなお父さんいてる？何人かが「うん」て。いてんのや。やっぱり。

実は雄一郎さんは愛媛大学で授業殆ど出てない。出てる授業は1つだけです。フランス語。

成績はすごくいい。すぐ行くつもりだから。卒業までに退学届を出して、フランス外人部隊に行った。

ものすごいトレーニング。新兵採用までにどんどん脱落します。新兵に採用されても、ひと月もすると、新兵の中で何人かの鼻が曲がっていく。動作が遅い・呑み込みが遅い・反抗的などでガーン！軍隊です。

「どうせお前ら、自分の国に居場所ないから来たんやろ。」壮絶な虐めというか軍隊のプレッシャーの中で、彼はものすごく優秀な兵士になっていって、5年間フランス外人部隊にいました。

その5年間に、父と息子の間で19通の手紙のやり取りがあるんです。その手紙の内容が書いてある本。なんでそんな、他人(ひと)のプライバシーの本、読まなアカンねん思いながら。

お父さんは息子をものすごく心配しているんですが、心が通い合わないんです。

息子さんがなぜフランス外人部隊に行ったのか、答えは書いてない。

だけど、「腕っぷしの強い父親でも絶対クリアできない1番過酷な環境の中に身を置いて、俺は普通なら3年以上かかる伍長にすぐになった。フランス外人部隊の中でも、泣く子も黙るような鬼伍長になった。」という実績を引っ提げて父に対面して、父と対決して、そして恐らく「雄一郎、お前すごいなあ」と言って欲しかったんだと思うんですよ。

言わないんです。「なんで、そんなバカな生き方するんや？国立大学入ったんやないか！卒業だけはしておくべきや。」話がかみ合わない。

皆さんは『どくとるマンボウ』知ってますか？北杜夫(きた もりお/1927-2011)さん。

最近の人は読めへんから分からへんと思う。歌人の斎藤茂吉(さいとう もきち/1882-1953)の次男です。

北杜夫はペンネーム。本名はもちろん斎藤さんですよ。

彼は旧制松本中学に行くのですが、そこでハマっちゃうんですねー。昆虫採集に。

子供の時って、なんであんなに虫好きなんですかね？

私も昆虫採集で、ピンで刺して、夏休みに持って行くのが楽しみでしたが、大人になったら怖いねん。

万一ゴキブリなんか見たら…、家内の出番です。顔色ひとつ変えずにボン！頼もしいわ〜。

「ちょっ、はよはよ！ゴキブリ出たから！」フランス外人部隊入れません。

北杜夫さんは先輩に辻邦生(つじ くにお/1925-1999)が出て来るんです。後の大文学者ですよ。

そして文学に目が開かれ、お父さんの歌集を読んだ時、「父は精神科のドクターだが、文学者としてなんと凄い人だ！」息子としてではなく一文学青年として、その才能の前に思わず跪きたくなる。崇拜する。

文学素晴らしい。俺も文学したい。でも、昆虫採集とか生き物も好き。そうだ！『ファーブル昆虫記』みたいに、虫の観察をするだけでなく、それを文章に著わしたら、文学と趣味と両方いけるやん！

よし。まず動物学者になろう。それから作家に。『シートン動物記』みたいなん書いたらいいんや。

お父さんを説得するため、言葉を選んで選んで考え抜いて、「お父さん、僕、動物学者になりたいんです。」

斎藤茂吉は何と言ったか。「お前は松本に行って馬鹿になった。うちの家、分かっとるだろう。先祖代々医者だぞ。医者以外の者を出せるか！動物学者で食っていけるのか？馬鹿な事を言うんじゃない！」

彼は動物学に行きたいけど、お父さんの父権が非常に強い。「それでも、この道に行きたいんです」と言えない。それで、仕方なしに東北大学の医学部に行くんです。

それがちょっと腹立つね。仕方なしに国立大学の、旧帝大の医学部に、仕方なしに入るんかと。

彼は「医学なんか勉強したくない！」カバンに卓球のラケット入れて、授業に出ないで昼間卓球ばかり。夜は仙台銀座に行って、お父さんが「高額な医学書を買うために必要だから」と送ってくれる学資が全部お酒に消える。最後はカバンも質に入れて。卓球のラケットだけは絶対に手放さなかったそうです。そのお金もない時、バーの客が飲み残したお酒を飲ませてくれるお店があって、それをかき集めて飲む。

そして「医者になんかなるか！医学部入るだけで十分や！」と言っているのに、国家試験を受けてしまって。で、仕方なしに受かるんですよ。ホンマにどうなってんねんと。

だけど、彼はずっと文学書いている。そして『夜と霧の隅で』で芥川賞取るんですよ。自分も精神科医です。ナチス・ドイツの精神科医が精神を病んだ人たちを安楽死させている時、ものすごい葛藤がある。その葛藤を描いています。短編なのですぐ読めます。

それを皮切りに色んな本を書きますが、それらを見ていくと、なんとお父さんの事ばかり出て来るか。「父は俺の邪魔をした」とか「もっと早く文壇にデビューしたかった」とか色々あるけど、彼が書くのは斎藤茂吉の事ばかり。

つくづく人間は、2人共そうなのですが、権威ある、自分が“この人は権威だ”と認めている人から「よし」と言ってもらう事をどんなに望んでいるか、と思うんですね。

人間は自分で自分に「大丈夫だ」と言い聞かせるだけでは、自信が出て来ないと思います。権威ある者から「お前は大丈夫だ。」「お前は生きて来ていいんだ。」「生きていていいんだ。」だけど、そういう言葉に出会い損ねている人がなんと多いことか。でもね、失望する事はないんです。聖書を見ると、私たちの本当の親・私たちを本当に存在させた方は神です。神は人間に向かって「わたしの目には、あなたは高価で尊い（たっとい）」（イザヤ 43:4）と語らせてくださっているんです。

創世記で、人間は地の塵で体を造られ、鼻にいのちの息を吹き込まれたので生きるものとなった。だから人間は、自然界の一部である部分と、神由来のもの両方がブレンドされているんです。両方で成り立っている。バランスが必要ですね。所詮塵からできている。でも、その土の器の中に、神のかたちに似せられたいのちを吹きこまれているのが人間。なので、人間を造られた方を聖書は“父なる神”。

“父”はギリシア語でパテル。パテルはパトロンの語源です。パトロンはアーティストがまだ新人で無名の時に、大成するまで生活全般何から何まで全部面倒見て、支援してくれるお金持ちの人。スポンサーのこと。私たちを造ってくださった方は私たちを支援して・応援して、本物のいのちと出会うように、常に働きかけてくださっている方なのだと聖書は語るのです。

神の支援の中で最も大きな支援が、ご自分のひとり子イエス・キリストです。イエス・キリストが人の世界に生まれられました。このキリストの贖いの御業（みわざ）と執り成しによって、私たちは初めて神の前に返る事ができるんですね。今日は、そのキリストのご性質をピレモンへの手紙から考えたいと思います。

ピレモンへの手紙、どんな事が書いてあるのか。新約聖書の大半を書いた人物にパウロがいます。パウロはローマで約2年間投獄され、ローマの番兵が付いている所で、比較的自由な家にいる期間もあったし、獄中に入れられていた期間もあったと他の箇所でも示唆されています。ローマの獄中にいた間、色んな所で捕まった人たちが同じ獄に入って来て、自分と相部屋になった囚人にオネシモという青年がいました。彼の身の上話を聞いたら逃亡奴隷だと。

奴隷は“ものを言う道具”という言い換えがあるくらいで、主人の私物・私有財産です。つまり、逃亡奴隷は主人の私有財産を盗んだ事と同じになるんです。

オネシモはコロサイという所で逃げ出して、流れ流れてローマに来た。かなりの距離があります。今のトルコの真ん中辺りから、今のイタリアのローマまで。言うなら海外旅行。全部ローマなんです。逃げ出す時、恐らく主人の家の家財道具が何か、持ち逃げして処分しているはず。そして、ローマに行き着くまでに何回か盗みを働いたり。そういう事をしない限り、食い繋ぐ事はできなかったはずですよ。

どういう事情か、とにかく捕らえられて獄屋に入り、相部屋にパウロというクリスチャンがいた。そのパウロからイエス・キリストの福音を聞きました。

「神様はあなたを愛していますよ。しかし、あなたは神様の愛を十分に体験できてませんね。なぜだか分かりますか？あなたが罪人（つみびと）だからです。罪が神様の愛を分からなくさせています。その罪を取り除くために、イエス・キリストがわざわざ人となって、あなたのために死んで償いをし、よみがえってくださいました。このキリストを信じる者は罪赦されるのです。」

オネシモは信じてクリスチャンになるんですね。そして誰の奴隷だったのか聞いたら、なんとパウロがキリストに導いた友人ピレモンの家の奴隷だったんです。

パウロがピレモンに「オネシモを赦してやってくれ。もう1度受け入れてやってくれ」と執り成すために書かれたのが**ピレモンへの手紙**。

ここに、イエス・キリストが私たちのために、父なる神様に祈ってくださった祈りの性質がよーく表れているんですね。なので、この箇所を3つのポイントでお話します。

### 1) 愛について

1. キリスト・イエスの囚人パウロと兄弟テモテから、私たちの愛する同労者ピレモンと、
2. 姉妹アッピア、私たちの戦友アルキポ、ならびに、あなたの家にある教会へ。

囚人、文字通り囚人になっている。姉妹アッピアは恐らくピレモンの奥さん。戦友アルキポは恐らくピレモンの息子。お父さん・お母さん・息子、みんなクリスチャン。家で教会を持っていた。戦友だから、一緒に伝道したり礼拝したり、色んな事をやったんですね。

そして、オネシモの事を頼むという時に

8. ですから、あなたがなすべきことを、私はキリストにあって、全く遠慮せずに命じることもできるのですが、
9. むしろ愛のゆえに懇願します。このとおり年老いて、今またキリスト・イエスの囚人となっているパウロが、
10. 獄中で生んだわが子オネシモのことを、あなたにお願いしたいのです。

むしろ愛のゆえに懇願します。これは、オネシモがパウロに「執り成しの手紙書いてください」と言ったので書いたんじゃない。パウロは使徒ですね。神によって立てられた特別な権限を持っている人。現代に使徒はいません。新約聖書が完成する前、使徒と言われている人たちがいました。パウロは使徒の権限を使って、ピレモンに命令する事もできたんです。

しかし、そういう権威を使っての命令じゃなく、「私はあなたを愛しているし、あなたも私を愛している。そして、あなたは全てのクリスチャンも愛している。その全てのクリスチャンの中に、オネシモもとうとう入った。命令でやむなくではなく、あなたに自発的に動いて欲しい。」愛は自発的なものです。

時々「クリスチャンになったら、毎週日曜日は教会に行かなければならないんですか？それは強制ですか？」と聞く方がいます。

あのね、どんなに良いものも、強制という要素が入ったら異様なものになります。台無しになるんです。私は神を愛して来ています。自分の霊的健康において、クリスチャンの共同体から切り離された生活が非常に危ないという事を知っています。

何よりも、共に集う事を神が勧めておられるんですね。

神様が私たちに何かを勧める場合、その勧めがその人にとって祝福になる時だけ勧めるんです。

皆さん、色んな人に勧められて、それをやって酷い目に遭った事あるじゃないですか。ないですか？

ようあるわ、私。昨日はね…、やめときますわ。もうね、ちょっと言うわ。

昨日、フィッシングに引っかかったんですよ。私はアップルのサイトをよく使うんですが、アップルのホームページと全く同じ模様のサイトが来て、「あなたの ID がおかしな事になっているから、すぐ再確認してください」というのにまんまと引っかかってね。情報盗られました。

すぐに何とかしましたが、ホンマに、それでもものすごい時間かかりましたね。

すごく親切な素振りしてね。そんな話はどうでもいいんですけど、言わずにおれなかった。

神様が「やめときなさい」と言われる時、その理由は、それをやったら必ず不幸になるからです。

その選択が必ずその人を不幸にする時「やめなさい。」

それは、自由を取り上げているんじゃないんです。祝福のためにそう仰っているのですね。

「これを勧めます。」それをすれば必ず祝福が来るので、良い事なのでお勧めになる。

それを「強制や！」強制になったら、美味しい物も美味しくなくなります。

私は高校2年の時、寺田町（てらだちょう）の王将餃子で10人前に挑戦してね。

あんなに大好きなヤツでも、30分以内に食べなければならないという強制がかかった瞬間、餃子が呪いに見えました。胃がキューツ。

神様は私たちと愛と信頼で関係を持ちたいんです。愛は自発的です。何よりも愛は大胆ですね。

後に出て来ますが、「兄弟として受け入れてやってください。」

自分のためには思い切った事ができなくても、愛している人のためになるなら、日頃は小心な人でも思い切った事がやれてしまうという事があるんじゃないですか？

私の母は健在ですが、1つ覚えている事があるんですね。

僕は大学2浪したんです。勉強好きなので、ついちょっと足踏みして。2年間、新聞配達しながら予備校に行きました。1浪目の時、どんどん受験が近づく中で、「あの子も一生懸命早起きして新聞配達やって。今回こそ、神様、どうぞ合格させてやってください。」まだクリスチャンじゃなかったけど、母は真剣に祈ってたんです。ずーっと祈ってくれたんですね。祈ってたけど、ちょっと気になる事が出来た。

真言宗のお寺に私の亡くなった父の位牌が託されていて、毎月お坊さんに供養してもらっている。

そのために毎月お金を払い、自分で頭を下げているのではないけど、代わりにお坊さんにお経を唱えてもらっている。

ある時、「神様は唯一の神。全能の神。憐み深い神。弱い者を助ける神。ウチの息子の弱い奴をどうぞ助けてやってください」と祈っている時、「唯一の神である神様に、どうしてもこの祈りを聞いてくださいと祈りながら、お寺に位牌預けて、代理人とは言え偶像を拜んでいる」という事について、責められるようになったんです。

「神様、どうしてもこの祈りを聞いて欲しいんです」と祈りながら、心の中に「あなたはわたしを唯一の神と言いながら、あなたは別の事をやっているではないか。」囁くような声が聞こえて来た。

そしてある日突然、バーッとお寺まで走って行ったそうです。

「すみません。ウチの息子がクリスチャンになりました。私もせがまれて、やむを得ずになりました。」

やむを得ずじゃないんですけどね。

「息子が言うには、これ、やったらアカン事やと。私もどっちもどっちもというのは、お寺さんにも失礼やと思うんで処分してください。すみません！ごめんなさい！」そしたら、そのお坊さんが人格者でね。

「そうですかー。息子さんと同じ信仰、よろしいですなあ。うちで処分しときますー。」それでおしまい。

次に母と会った時、表情がめちゃくちゃスッキリしてるんですよ。「何があったん？」

事と次第を聞いて「そんな思い切った事、ようやるなあ」と言いながら、神様の助けがあったと思いましたが、同時に「何としても今度という今度は、息子を合格させてやってください」という私への愛が、母を大胆にしたんだと思うんですよ。

愛って、自分のためには遠慮がちであり発言できない人でも、自分が何かする事によって、この人を助ける事ができる・しかもその人が自分の大事な人である場合、思い切った事をする勇気を与えるんじゃないですか？

パウロはオネシモを大事に思ったんですね。「赦してやってください…。」

その願いの中に、キリストが私たち罪人を大事に思って、神様に向かって「父よ、どうぞ彼らを赦してください。全部赦してください。」めちゃくちゃ大胆な願いだと思いませんか？

「人が一生の間に犯す全部の罪、全部赦してください。」

なぜそんな思い切った事まで言えるのでしょうか？愛は人を大胆にさせるんです。

## 12. そのオネシモをあなたのもとに送り返します。彼は私の心そのものです。

今週土曜日、私の大好きなカップルの結婚式があります。

今年5月に私の息子が結婚しましたが、正直言って、自分の結婚式よりも嬉しかったですね。

自分の結婚式はね、疲れたわ。あっちこっち気いつこて。両方共。両方共って深い事言わんけど…。

とにかく疲れたわ。だけど、愛する息子の結婚式は嬉しかったなあ。

愛って、愛する人と自分とが一体化するんです。自分が愛している人が幸せになる事が、自分の幸せに感じるんです。愛している人のビジョンの実現が、自分のビジョンの実現になるんです。

パウロは言いました。「彼（オネシモ）は私の心そのものです。オネシモの身に降りかかる事は私に降りかかる事と同じです。」なぜ言えたんでしょうか？愛してる。

それと同じように、キリストはあなたを愛して、父なる神様に「彼はわたしの心そのものです。わたしの大事なものです。赦してやってください。」私はその事を考えるとホンマにありがたい。私の弁護士はイエス・キリストなんだと考えると、なんかこう無性に力が湧いて来るといふか、勇気が湧いて来るといふか、「よーし、やったるで！」という気持ちが湧き上がって来ます。愛なんです。

## 2) 神の視点で人生と歴史を見る

15. オネシモがしばらくの間あなたから離されたのは、おそらく、あなたが永久に彼を取り戻すためであったのでしょう。

16. もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、愛する兄弟としてです。特に私にとって愛する兄弟ですが、あなたにとっては、肉においても主にあっても、なおのことそうではありませんか。

自分の家の奴隷が家財道具か何か持ち出して逃げていたというのは、個別の出来事として見ると不幸な事・忌々しい事・残念な事・腹立たしい事。損害を被っている。

しかし、逃亡した先にパウロという優れたクリスチャンがいて、神が彼と出会わせ、オネシモが悔い改めてイエス・キリストを信じてクリスチャンになった。

前は反抗的な奴隷だったけれど、今度は真心から、キリストにある主人に仕える良いしもべ・良い奴隷となって帰って来る。それどころか、兄弟姉妹の一員になった。

人生の出来事を個別で見ると、残念な事・嫌な事・辛かった事・苦しかった事・忘れてしまいたい事があります。でも神様は、個別で見たら悪いものでも、神が働きかけて行く事によって予想もつかない良いものに転換する事が出来るのです。

今現在進行形で私の身に降りかかった嫌な事・辛い事・しんどい事も、この世界を支配している神はそのまま終わらせる事なく良い事に転換する事が出来るし、転換させるために日夜全能の力が働いている。そう思ったら、ちょっとスツとしませんか？私はなんか気持ちが落ち着くんです。

今年ももうね、トランプは危ないし…、それはどうでもいいけど、もう「こうなれよ！」と思っている事とちゃう事ばかりや！でもそれで「テロだ！」とかなりませんよ。当たり前ですけど。

それは、人間がやらかす色々な事のはるか上に、本当の支配者である神様が君臨しておられて、神の御心の実現に向かって世界が動いている、という事を信じているからです。

この人生観は、私たちに安定感をもたらすのではないのでしょうか。

## 3)

17. ですから、あなたが私を仲間の者だと思えば、私を迎えるように（逃亡奴隷）オネシモを迎えてください。

18. もし彼があなたに何か損害を与えたか、負債を負っているなら、その請求は私にしてください。

19. 私パウロが自分の手で、「私が償います」と書いています。あなたが、あなた自身のことで私にもっと負債があることは、言わないことにします。（言ってるやんみたいな。）

20. そうです、兄弟よ。私は主にあつて、あなたの厚意にあずかりたいのです。私をキリストにあつて安心させてください。

もし彼（オネシモ）があなたに何か損害を与えたか、もしと書いてあるけど、損害与えたんですよ。だから、この問題に触れているんです。

クリスチャンはイエス・キリストを信じて全ての罪が赦される。神との間の罪は全部終わります。

が、人に対してした事は、本当に悔い改めているなら当然償うべきです。

神との間では罪の償いは終わっています。だから赦しを得るためにではなく、罪赦された者として、もし何か物を破壊して黙っているなら白状して償う。「ごめんなさい」と言うのは中々難しいですよ。

大分前に、久しぶりに市バスに乗りました。大阪市バス、随分良くなりましたね。

今の大阪市バスのデザイン、昭和のデザインに戻ってるんですよ。グリーンと白のライン。懐かしいわ。

ちょっと前、住吉区に総合医療センターがあって、私、顎の手術をした事があってバスで行きました。

「総合医療センター前。お降りの方はボタンでお知らせください」と言うじゃないですか。

で、びゅっと押したんですよ。

その瞬間、後ろの方で子供がびゃああ〜！「ぼく押そうと思ってたのにい。勝手に鳴ったあ！」

いや、勝手に鳴ったんちゃう。わしが押したんや。「ぼく押そうと思ったのに先に鳴ったあ！」

世の中に出たら、そんな事ばかりですよ。「そんな事くらいでビービー言うな」と知らんぷりしてね。

窓の外見てた。そしたら、後ろで女性が「ごめんねえ、ぼく。おばさん、先に押しちゃったー。」

俺、ものすごい責められてる…。「いやいや、わしやわしや」思ったんですけど、ちょっと今更言い出されへん。別に謝る事じゃないから、これ。

だけど、余裕のある大人って素敵ですよ。私みたいに「ピーピー泣くな！」そんなんじゃない。

「ごめんね」言いながらアメでもあげて、なんか、ほんわかした雰囲気ですわ。

ちょっとその時、私（顎が）痛かった。私も痛みとかなければ、もっと気の利いた事を言えたと思うけど痛かったから。バカボンのパパみたいに膨れたんですよ。今でも家内が時々それ見て、プーっ吹き出しています。

それは罪ではないけど、「ごめんなさい」と謝りに行くのは難しいですね。でも、本物の悔い改めは、罪の償いを伴うのが当然だと思っています。これは、神にある赦しを得るための行為ではありません。

赦されたという事を本当に味わっている人は、謝りに行くプロセスが神様の訓練になるんです。

そして、わだかまりを全部きれいにして、スッキリした信仰生活いいよって。

オネシモは何か損害を与えたんですね。

18. もし負債を負っているなら、その請求は私にしてください。

19. 私パウロが自分の手で、「私が償います」と書いています。

“〇〇に請求する”という言葉はギリシア語でエロゲオー。日本語でひと言で言うなら“転嫁”。

責任転嫁という言葉は否定的な文脈でないと使いません。

転嫁の“転”は転がすという意味ではないんです。転がすなら嫁転がしやん。雪だるまちゃうねんから。お嫁さんコロコロ転がして。そんな競技ない。

転嫁の“転”は他の所に移す。別の所に移動するという意味があるんです。

転勤；勤務先を別の所に変える事。転居；住居を別の住所に変える事。

転校；通っていた学校と違う学校に通い直す事。転職；全く違う種類の職業に変わる事。

“転”は今まで慣れ親しんでいたところから、全く別のところに移し変えられて行く事。

“嫁”は嫁（よめ）。嫁ぐ（とつぐ）とも読みますね。転嫁は元々女性の再婚の事です。

女性が一旦嫁いでそこの家の人になったけど、改めて別の家に嫁ぐ事。これが転嫁。

そこから派生して、別のものに移し替える。別のものに付ける。別の人に勘定書きをよこす。

使った人が払うのではなく、使った人の分を使ってない人が代わりに払う。払わせる。これが転嫁。

18. もし彼があなたに何か損害を与えたか、負債を負っているなら、その請求は私（パウロ）に（転嫁）してください。

「罪は償われるべきです。今、獄に繋がれている逃亡奴隷オネシモには賠償能力が全くないので、私が釈放された暁には私が支払いますから、私に請求してください。」

この個人的な手紙を、神はなぜ新約聖書の中に入れられたのか？

この言葉遣いの中に、神がキリストにあって私たちにしてくださった事がよく説明されているから。

キリストは私たちの罪をご自分に転嫁して、十字架に掛かってくださったんです。

全人類の全ての罪は、たった1人の人イエス・キリストに全部転嫁されたんです。

なので、この方が十字架に掛かって神から捨てられ、裁きを受けられた時、全人類の罪の裁きは終わったのです。あなたの罪の処分はイエス・キリストの十字架において完全に終わった。

これが聖書が語っているところです。

イエス様が十字架に掛かれた時、最初に言われたのは祈りでした。

「父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」(ルカ 23:34)  
どんな心境で仰ったのでしょうか。

「父よ、わたしは自発的に十字架に掛かっているのです。今十字架に付けている者たちを、どうぞ裁かないでください。彼らの罪もわたしが背負います。この罪人たちは恐るべき罪を行っています。

恐るべき罪でも、罪人はあなたに愛されている者ではありませんか。わたしは罪人を愛しています。

わたしの心は罪人と一緒にあります。どうぞ、わたしを思って彼らを赦してください。

もし人間があなたに罪を犯したり、損害を与えたり負い目があるなら、全部わたしくしイエスが払います。ですから父よ、彼らをお赦してください。彼らは、自分が何をしているのかが分かっていないのです。」

このように、神の前ににじり寄ってくださったのです。こんな愛であなたを庇ってくれる人がいますか？  
人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。(ヨハネ 15:13)

誰も持っていない大きな愛を、あなたのためにお献げになった救い主がイエス・キリストです。

イエス・キリストが十字架に掛かってくださった事、墓に葬られた事、3日目によみがえった事を信じ受け入れる人が、救いを受け取った者と見なされるんです。

どうぞ、イエス・キリストを信じてください。そして、永遠のいのちを頂いて、父と素晴らしい関係の中に入ってくださいますように、心からお勧めしたいと思います。

＊動画は YouTube で「HCA 東住吉キリスト集会」

＊ラジオ番組「聖書と福音」(約 15 分) も是非どうぞ。YouTube もあります。

＊YouTube「ごうちゃんねる」もぜひ見てください。

動画筆記 : Rumi